

ときをつなぐもの

文化財の紹介

『宗湛日記と織部茶碗』

慶長4年（1599年）2月28日、京都伏見で古田織部が茶会を開きました。茶会に招かれた博多の商人・神屋宗湛は、そのときの様子を次のように書き記しています。

「ウス茶ノ時ハ セト茶碗

ヒツミ候也 ヘウゲモノ也」

（『宗湛日記』より）

「薄茶を飲むときは美濃の茶碗を使ったが、歪んだ形であった。ひょうきんであった」。歪んだ形の茶碗を見てたいへん驚いた宗湛は、こうつぶっています。「セト茶碗」は今でいう織部黒茶碗だと考えられてお



▲元屋敷窯(泉町久尻)で作られた織部黒茶碗

り、この記述は、織部茶碗が初めて史実に登場した記述として有名なものです。



▲数内佐斗司氏作 古田織部像 (2月25日(土)から3月4日(日)まで美濃陶磁歴史館に展示)

市内で黄瀬戸、瀬戸黒、志野、織部などのいわゆる美濃桃山陶が生産されたのは今から400年ほど前のことで、織部が茶会を開いた時期と同じです。織部が用いた茶碗も、もしかしたら市内で作られた茶碗であったのかもしれませんが。

さて、市ではこの史実に基づいて2月28日を織部の日と制定し、毎年記念事業を行っています。今年は大人数から子どもまで参加できる作陶体験やスタンプリリー、美濃のやきものを使ったお茶会や展示など、さまざまなイベントをご用意しています。また4月には第5回現代茶陶展を開催します。詳しくは本号の2、3ページをご覧ください。この機会にぜひ美濃のやきものを見て、触れて、体験してみてください。問い合わせ 文化振興課(内556)

プラザイベントガイド

文化プラザ ☎5711

第12回 スプリング夢コンサート in TOKI



3月18日(日)午後1時30分開演
会場 サンホール
入場料 無料

このコンサートは、市内および近隣の市の音楽家による手作りコンサートです。お気軽にお越しください。

【第1部】親しみやすいクラシック
【第2部】サウンド・オブ・ミュージック
※演奏会形式によるステージを出演者で作ります。

出演予定者

〔ピアノソロ〕市川晶子、渡邊越子
〔ピアノ連弾〕藤掛幹奈子・小川美佐緒
〔声楽〕渡辺理恵、森千穂(ピアノ伴奏)
〔重唱〕Piccolo あんだんて(加藤千恵・野村弘子・林裕美・山口史子)、小野木由紀子(ピアノ伴奏)
〔鍵盤ハーモニカ〕おんがくがかり(安藤律子・内田有美・長江美恵・渡邊越子)
〔フルート〕森川晶代、大林弓恵(ピアノ伴奏)

第33回 土岐市文化団体連盟祭 【ステージ部門】

土岐市を中心として活動する団体による発表会です。各団体の1年間の成果を皆さんにお届けします。熱演をぜひご覧ください。

会場 サンホール
入場料 無料
4月28日(土)・29日(日)
午後0時30分開演

打囃子、和太鼓、三味線、尺八、箏曲、日舞、新日舞、民謡、民踊、児童舞踊、馬子唄、長唄、きもの着付、吟剣詩舞、ハーモニカ、フラダンスなど

4月30日(月・祝)
午後2時開演
ピアノ、合唱など

